

【位相差分散顕微鏡】



個々のアスベストが特異的に持つ分散特性（光の波長による屈折率の違い）を利用し、鮮明なアスベストの分散染色観察（定性検査）が可能です。

【X線回折装置】

採取試料と石綿標準試料のX線回折パターンを比較して定性検査を行い、また回折X線強度により定量検査を行います。



【前処理室】

アスベストを粉碎・硝酸処理を行って、分析用の試料を作成調製します。



【アスベスト前処理用フード】

粉碎処理を行う際、アスベストの飛散を防止し、分析者の健康及び環境への配慮を行っております。

